

単元名 (選択単元)環境とわたしたちの暮らし

配当時間 6時間

単元の目標 (1) 関係機関や地域の人々の様々な努力により、公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことを理解するとともに、聞き取り調査や各種の資料で調べ、提案書などにまとめることができる。
 (2) 公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、公害防止の取組を捉え、その取組の働きを考え、表現することができる。
 (3) 日本で発生した公害の状況や防止対策などについて、学習問題の解決に向けて意欲的に追究するとともに、環境を守り、よりよくするために、自分たちにできることについて考えようとする

標準的な展開例

05030302_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 暮らしの変化と環境との関わりに興味をもち、単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。 ○教科書P. 236～237の年表や写真を見て、気付いたことや疑問を話し合う。</p> <p>○国土の環境について調べてみたいことを話し合い、単元の学習問題をつかむ。 ★環境を守るためにできることを考えよう ○学習問題について予想し、話し合う。 ・環境を守るための仕組みを整える ・環境のことを考えた製品を作る ○予想を基にして、学習計画を立てる。 ・調べる内容…公害とその影響、四大公害、公害対策環境先進都市 ・調べる方法…教科書、地図帳、インターネット ・表現の仕方…提案書</p> <p>2 四日市で起きた公害について調べる。 ○教科書P. 238の写真を見て、気が付いたことを発表する</p> <p>○四日市ぜんそくについて調べる。 ・空気の汚れがきっかけ ・発作で死ぬ人もいた</p> <p>3 公害に苦しむ人々の活動について調べる。 ○公害が起きた原因を調べる。 ・工場から出る煙はすぐ近くの家流れている ・煙に含まれる硫黄酸化物 ○公害に苦しむ人々が起こした運動について調べる。</p> <p>4 公害を防ぐための対策について調べる。 ○教科書P. 242の二つのグラフから読み取れることを話し合う。 ○国や県、市と会社がとった対策について調べる。 ・公害を防止する決まりを見直し、硫黄酸化物の量を厳しく規制した ・煙をきれいにする装置の実用化を急いだ ○四大公害について調べる。 ・水俣病 ・新潟水俣病 ・イタイイタイ病 ・四日市ぜんそく</p> <p>5 環境をよりよくする取組について調べる。 ○四日市市の環境に関わる取組について調べる。 ・語り部活動によって、四日市ぜんそくについて伝えていく ・アイセットを設立し、環境を守るための知識や技術を伝える</p> <p>6 単元の学習を振り返り、自分の考えをまとめる。 ○環境を守るために大切なことや、自分たちにできることを考え、提案書にまとめる。</p>	<p>・年表の見方を説明してから、社会の変化を捉えさせる。 ・「公害」の意味を押さえ、暮らしだけでなく健康や命を脅かすものであることを捉えさせる。</p> <p>【評】国土の環境について話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・教科書P. 236～245で、学習の内容を大まかに捉えさせる。</p> <p>・現在の写真から「空気がどのようにしてきれいになったのか」という疑問をもたせる。 ・教科書P. 238～239の本文の記述や各種資料を基に、四日市ぜんそくの概要や人々への影響について調べさせる。</p> <p>・教科書P. 240の各種資料を基に調べさせる。</p> <p>【評】公害に苦しむ人々が起こした運動を調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する</p> <p>・公害による被害が、長い年月に渡って続いていることを読み取らせる。 ・1975年頃から改善が見られることを確認させる。</p> <p>・公害を防ぐための法律が制定されたことにも触れる。 ・四日市ぜんそく以外にも、公害に対してどのような取組がなされてきたか調べさせるとよい。</p> <p>・教科書P. 244～245の写真や本文の記述を基に活動の概要と目的をまとめさせる。</p> <p>【評】環境を守るために大切なことをまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 【評】自分たちにできることを考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

本単元は選択単元であり、標準的な展開例では「大気汚染」を取り扱っている。教科書P. 248～251の「大和川とわたしたちの暮らし」を活用して「水質汚濁」を選択してもよい。